

3 富士山みがきあげ作戦

富士山みがきあげ作戦では、地元の企業、団体等様々な方々の参画を得ながら、五合目以下の道路や公園等のごみについて実態を調べ、どうすればごみをなくせるか考えることにより、富士山を裾野からみがきあげ、日本一きれいな山を目指します。

●対象地域

富士山裾野の4市1町（富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町）内の五合目以下の道路等を中心とし、実施者が自主的に選定、決定します。

なお、富士山を眺めることのできる地域の道路等も対象地域とします。

●活動内容

- ①ごみ拾い
- ②ごみの実態調査
（「調べる」「考える」→ごみを捨てさせない方法の検討）



●ふじさんネットワークの支援

- 活動中の傷害保険の加入
- 腕章、幟の貸し出し
- 情報誌等で活動実績の公表

平成18年度の活動実績（平成19年3月1日現在）

団体名	実施日
マックスバリュ東海(株)	5月27日(土)、9月23日(土) 2月17日(土)
国立中央青少年交流の家 (富士山国際エコキャンプ村事業を含む)	7月26日(水) 8月21日(月)から26日(土)まで
国産電機(株)	9月16日(土)
トヨタ紡織(株) 課長会 関東ブロック	10月14日(土)
(株)虎屋御殿場工場	10月19日(木)
キリン ディスティラリー株式会社	10月21日(土)
東京電力(株)沼津支店	11月13日(月)

●ごみが多くみられたところ

場所	内容
公園内の植栽の中、河川敷一帯 河川敷	たばこの吸殻 ビニールの空き容器(弁当)
駐車場、駐車場周辺の草むら、植え込み 道路の路側帯、側溝、道路周辺の草むら 道がカーブした箇所や交差点 車が減速する所のガードレール裏	ポイ捨てと思われるビン、缶、ペットボトル、袋類 (コンビニ、スーパー、菓子、食品等)、たばこの吸殻
道路に駐車スペースがある場所の繁みの奥 道路近くの林の中 道路際より一歩入った所の敷地、草むら	引越して出たと思われる家庭雑貨、カーテン 一般家庭から捨てられたと思われるごみ (衣類、カセットデッキ)

●活動中気がついた点

- 小さいごみだが、たばこの吸殻が一番多い。たばこの吸殻はどこにでもある。
- たばこのポイ捨ては火事になる危険もあり、厳に謹んでほしい。
- 渋滞する道路側にごみが多い。
- ブリキ看板の支柱等が腐食し、看板が散逸しているが目立った。
- 粗大ごみは少なかったが、道路から離れたところにごみは多い。
- ごみが捨てられる場所は、1箇所にとまる傾向にある。

●ごみを捨てさせない方法

- 監視カメラの設置（ダミーでも注意喚起となる）
- 販売元（メーカー）に容器等が捨てられても、自然に戻る容器を開発させる。
- 飲食品容器については、コンビニで購入したものが多くと推測されるので、各コンビニ店舗に、富士山美化活動・ごみのポイ捨て禁止及びごみ拾い推奨等の看板表示を掲げて頂ければ、ポイ捨て抑止の効果が上がる。
- 「ごみのポイ捨て」＝「恥ずかしい行為」という風潮を世間に作る。
- たばこの吸殻が多いので、たばこを購入すれば携帯用の吸殻入がすべてのたばこに付いてくるようにする。
- たばこを製造するメーカーの責任で、歩きたばこをしないように、吸殻をポイ捨てしないようにとのアピールをたばこの包装紙に印刷する。
- 富士山を禁煙にした方がよい。全て禁煙にするのも困ると思うので、山小屋や、駐車場には喫煙場所を設ける。
- ごみを拾う姿を見てごみを捨ててはいけないという気持ちになると思う。
- 国道138号線にごみを捨てる人は、観光客が殆どなので、東名高速道路のインターチェンジ付近にごみ捨て防止の看板を設置する。
- ごみが少しでも捨ててであると、次々に捨てられる傾向なので、常にきれいにする。
- 歩道の草をなくし常にきれいにする。
- ビン、缶、ペットボトルは資源であるため、回収する箱を公園内や河川の休憩場所に設置する。道の駅を増やし、ごみを捨てることの出来る場所を増やす。

活動に興味のある会員の方は、
事務局まで連絡ください。

